

県振連青年部研修会開催

2月13日(月)鶴岡市湯野浜温泉「愉快亭みやじま」において、山形県商店街振興組合連合会青年部研修会が開催された。

はじめに、「世田谷区改正産業基本条例のポイントと下北沢一番街商店街振興組合振興策について」と題し、世田谷区商店街連合会副会長兼青年部長久保田英文氏より、取り組みについて説明があった。どんな世



代の方が訪れても、おもちゃ箱をひっくり返したようなゴチャゴチャして楽しい街、お互いが理解し合い支えあって共存共生がはかられているやさしい街を目指し活動を行っている。伝統行事としては、74回を迎えた天狗祭りや阿波踊りがあり、イメージアップのため北沢音楽祭、下北沢演劇祭開催。また、落書きをなくすための「シャッターギャラリー」実施し、その結果落書きが無くなり、夜間でも通るだけで楽しめる安心安全な街になったと語った。

県振連第4回交流会開催

2月20日(月)新庄市「一葉本店」において山形県商店街振興組合連合会の第4回交流会が開催された。

はじめに、本年5月施行予定の会社法改正の影響について早坂吉孝税理士事務所所長早坂吉孝氏より「会社法 影響と対策」と題し研修会が開催された。会社法の施行により現在の有限会社は、何もしなければ特例有限会社として存在するが、メリット、デメリットを考え株式会社変更も検討する必要があると語った。

引き続き、山形県における「広域土地利用調整について」山形県商工労働観光部経済交流課課長伊藤勝氏より説明があり県としてもガイドラインをつくり調和の取れたコンパクトシティづくりに取り組んでいきたいと語った。

その後、各商店街より現在の状況及び問題点について報告があった。100円商店街、青空市の実施成果や高度化返済で商店街活動ができないこと等が報告された。

～若さと知恵で大いなる飛躍～

平成17年度第23回山形県中小企業団体青年部大会開催

毎年恒例となっている「山形県中小企業団体青年部大会」を、1月13日(金)山形市のホテルキャッスルで開催した。大会は本会と山形県中小企業青年中央会(会長:斎藤昌己)の共催。県内の組合青年部員ら約90名が出席し、業種を越えた活発な交流を図った。

当日は、各青年部の活動をPRする「パネル展示交流会」の他、「うちの青年部はこんなことやってます!」と題



し、県菓子(工)青年部連合会、やまがた酒彩倶楽部、県麺類食堂(生同)青年連合会からの事例発表で、参加者相互の理解と新たなビジネスチャンスを探求した。来賓としてご臨席の後藤靖子副知事からは若い世代への激励を頂き、参加者一同、自らの発展に向け決意を新たにした。

第2部の懇親会では、ビンゴゲームなどで大いに盛り上がり、次代を担う若手経営者のパワーが爆発した有意義な大会となった。